



# Press release

2020年5月25日

## アクサ、アクサ・ホールディングス・ジャパン、 新型コロナウイルス感染症に伴う社会的課題解決を寄付金で支援

アクサグループは世界中の国々で多くの人々が、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による未曾有の困難な局面に直面していることを受け、パンデミックへの対応を加速させるために、研究基金への資金拠出をさらに拡大し、研究者を支援しています。WHOが指摘しているとおおり、この領域における社会的なニーズは大きく、アクサリサーチファンドを通じて、[パスツール研究所の“COVID-19 Taskforce”](#)を支援するほか、さらに500万ユーロを確保し、パンデミック収束後も含めた新型コロナウイルス感染症をはじめとした35の感染症研究プロジェクトを支援しています。

さらに、従業員がソーシャルメディアで医療従事者に応援メッセージを送り、メッセージの投稿数に応じてアクサが各国の新型コロナウイルス感染症の治療にあたる医療機関を支援するグローバルな支援活動「[アクサ・ソリダリティ・チャレンジ](#)」を、日本を含む世界57カ国のグループ企業の従業員16万人に呼びかけて実施しています。アクサが50万ユーロの支援枠を設け、医療従事者に対する従業員による応援メッセージ投稿1件につき5ユーロを101Fund\*に寄付します。

また、アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：安淵 聖司）は、READYFOR（株）のクラウドファンディングを通じて（公財）東京コミュニティー財団が寄付金募集を行っている「新型コロナウイルス感染症：拡大防止活動基金」や、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う社会的課題解決に取り組む「しんぐるまざあず・ふぉーらむ」、「キッズドア」、「全国子ども食堂支援センター・むすびえ」のNPO3団体に対し、従業員の募金額に連動し、総額1000万円のマッチング拠出を会社が行う支援活動を開始しました。アクサ・ホールディングス・ジャパンのもと、アクサ生命、アクサ損害保険（アクサダイレクト）、アクサダイレクト生命の3社は新型コロナウイルス感染症に伴う社会的課題を寄付金で支援します。支援先の概要は以下のとおりです。

### 1) [READYFOR「新型コロナウイルス感染症：拡大防止活動基金」](#)

READYFORのクラウドファンディングを通じて（公財）東京コミュニティー財団が寄付金募集を行っている基金。日本における新型コロナウイルス感染症の拡大防止に取り組む、個人・団体・事業者・医療機関・自治体などに対し、研究・開発費用、マスク・医療器具の支援費用、感染症対応に関わる人件費、子ども・福祉などを支援する個人・団体等の活動費用を緊急に助成。



### 2) [しんぐるまざあず・ふぉーらむ](#)

子どもたちの貧困をなくし、シングルマザーと子どもたちが生き生きと暮らせる社会を目指して、就労支援、相談事業、セミナーと人材育成、情報提供、新入学お祝い金事業、親子のイベントなどを実施。生活に困っているひとり親家庭にお米とおこめ券を送る「緊急米 come プロジェクト」など、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたひとり親家庭を支援。



### 3) [キッズドア](#)

日本国内の子ども支援に特化し、貧困の連鎖を断ち切るため子ども達への無料学習会運営を中心に、居場所支援、社会問題に対する啓発活動や政策提言、地方創生などを手掛ける。新型コロナウイルス感染症拡大により経済的な事情で塾や予備校に通えない子どもたちを支援。



#### 4) 全国こども食堂支援センター・むすびえ

こども食堂の支援を通じて誰も取りこぼさない社会をつくることを目指し、各地域のこども食堂ネットワーク支援、企業・団体と連携したこども食堂の支援、調査・研究・啓発を実施。「新型コロナウイルス対策緊急支援プロジェクト」を立ち上げ食料等の寄付を企業・団体に呼びかけ、全国の子どもたちに食を届ける他、助成制度「むすびえ・こども食堂基金」を創設し資金の支援も展開。



#### ■その他のアクサ・ホールディングス・ジャパンの取り組み

##### アクサ生命

- 1) 全国の515 商工会議所に感染防止資材（マスク、消毒液、飛沫感染防止段ボールシールド）を寄贈：中小企業への公的助成金や融資制度の申請の対応窓口となる職員の皆さまの感染を防止するため
- 2) 在宅児童への教育を支援：包括連携協定締結先の地方自治体を通じて小学生に向けた「人生の夢」を実現するためのライフプラン啓発の副教材を地域コミュニティに寄贈

##### アクサ・ホールディングス・ジャパン 3 社：アクサ生命、アクサ損害保険（アクサダイレクト）、アクサダイレクト生命

- 1) 外出自粛等の影響による運動不足の解消を目的とした運動機会増進アプリのご案内
- 2) 「AI ホスピタルによる高度診断・治療システム」人工知能アバターを利用した新型コロナウイルス感染症の相談補助システムのご紹介

#### ■業界団体を通じた寄付

アクサ生命・アクサダイレクト生命：[生命保険協会による新型コロナウイルス感染症対策への10億円の寄付金](#)の一部を拠出

アクサ損害保険（アクサダイレクト）：[日本損害保険協会による新型コロナウイルス感染症対策への3億円の寄付金](#)の一部を拠出

私たちアクサの使命は、お客さまそして地域社会に寄り添い、信頼されるパートナーとして、ステークホルダーの皆さまと協働し、持続可能な地域社会づくりをサポートすることです。生活が困難な状況の中でそれを克服すべく努力されている皆さまを、守り、支えるため、ONE AXA として心をつなげて、サポートしていきたいと考えています。アクサ・ホールディングス・ジャパンと傘下グループ3社は今後も、「プレイヤーからパートナーへ」というビジョンのもと、お客さまが健やかに自信をもってより良い人生をお送りいただけるよう寄り添ってまいります。

※101Fundについて：

[AXA Solidarity Response](#) で支援を行う [101Fund](#) は、2018年1月に設立されました。すべての患者が可能な限りベストなチャンスを得られる精密蘇生法を広げることを目的とした世界初の寄付基金です。

#### アクサ・ホールディングス・ジャパンについて

アクサ・ホールディングス・ジャパンはAXAのメンバーカンパニーとして、2019年に設立された保険持株会社です。傘下にアクサ生命、アクサ損害保険、アクサダイレクト生命の3社を擁しています。

#### AXAグループについて

AXAは世界57ヶ国で16万人の従業員を擁し、1億800万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく2019年度通期の売上は1,035億ユーロ、アンダーライティング・アーニングスは65億ユーロ、2019年12月31日時点における運用資産総額は9,690億ユーロにのぼります。AXAはユーロネクスト・パリのコンパートメントAに上場しており、AXAの米国預託株式はOTC QXプラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス（DJSI）やFTSE4GOODなどの国際的な主要SRIインデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ（UNEP FI）による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

\*上記のAXAグループ数値は2019年度のもの

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします：

アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社

広報部

電話：03-6737-7140

FAX：03-6737-5964

<http://www.axa-holdings.co.jp/>